

お客様の声

Customer's Voice

fusions

www.fusions.co.jp



株式会社アイセイ薬局

事業本部 事業支援部 次長 片野 哲雄 様

チェーン薬局会社として弊社は毎年薬局店舗が増加し、おかげさまで300店舗を超える現状となっています。予算作成および予実管理ではこれまでEXCELを用いてきましたが、集計工数や精度の限界が数年来の課題となっておりました。

そうした状況下でセミナーにてfusion_placeを知り、

1. 既存のExcel資産の活用・反映が容易である
2. 経営管理を意識したシステムとなっており、会計データの取り込み等においてシステム設計しやすい構造を備えている
3. 提供会社様の担当者がシステムだけではなく経営コンサルの知識を持ち、業務最適化に向けての適切なアドバイスも期待できる

というような点から導入を決定し、2014年末からプロジェクトをスタートいたしました。

まずは予実管理業務に着手し、導入開始から3か月足らずで成果が出ました。その後、第2フェーズでは予算作成業務に取組んだほか、会計データ以外の、たとえば来局数や店舗工数等データを取込み、様々な切り口で集計・分析し、関係者に迅速な情報提供を行える体制に至っております。

これらの背景として、fusion_placeによる集計・配信工数の大幅削減が可能となり、限られた人的リソースで今後の事業拡大にも耐えうる体制基盤が整ってきたと考えております。



あすか製薬株式会社

管理本部 経営企画部長 小林 秀樹 様

予算編成業務や実績管理業務におけるExcelシートによるデータ収集、分析といった作業は、煩雑であり非常に手間が掛かっていました。また追加予算の申請・承認のプロセス統制も手管理となっていたため、業務上の誤りが生ずるリスクも抱えていました。

このような中、フュージョンズのセミナーでfusion_placeの紹介を受け、テンプレートの適用による予算編成業務や実績報告業務の効率化、統制強化ができるものと判断しました。

導入にあたっては、設計から運用に至るまでフュージョンズのご担当者の丁寧な指導と的確な助言をいただき、スムーズに運用を

開始することができました。また、導入時だけでなく、導入後のシステム運用に関する問い合わせにも、非常に迅速かつ親身になって対応していただいております。

fusion_placeの専用画面により構築された業務フローは効率化されていることに加え、必要な統制機能も適切に設定されているため、当社メンバーが簡単なメンテナンスを行うことで継続的なシステム運用が可能となっています。業務の対象範囲も徐々に拡大し、今では当社の予算・実績管理業務の中核を担っています。当社にて簡単にメンテナンスができますので、変化に対応しながら、適切に経営管理業務全般に適用していきたいと考えています。



株式会社アテナ

デジタル戦略部 担当部長 稲富 陽介 様

当社は、マーケティングとBPOのアウトソーサーとして、正社員・契約社員・派遣社員合わせて1,000名程度の規模でサービスを提供しております。

予実管理、収支集計、管理表作成業務では、販売管理システムと財務会計システムからダウンロードしたデータをAccessで取込・処理を経た後、Excelへ反映するプロセスをとっておりました。Accessは膨大な数のクエリと、それらを束ねるマクロで構成され、Excelにおいても、複数ファイルに対しそれぞれのワークシート内にリンクや関数が縦横無尽に張り巡らされており、担当者がほぼ専任で運用と修正に対応しておりました。構築したAccessはバージョン2000であり、WindowsXPで運用するのが前提であることや、担当者の退職も控えており処理再構築が急務となっておりました。

そのような状況の中、セミナーでfusion_placeを知り、

- ・多次元データベースにデータを取込むことにより、様々な角度から容易に集計結果を取得できる

- ・Excelワークシートから直接データの入出力が行える
- ・従来実現できなかった、部門別収支管理（配賦）が可能になるなどの点より、当該業務の精度向上や管理会計の高度化が図れることが決め手となり、導入を決定いたしました。

導入後は、フュージョンズの適切なご指導と助言を頂戴し、第1フェーズの3ヶ月間で予算管理業務の構築が完了、第2フェーズの3ヶ月間で収支管理業務の構築が完了し、単なる処理再構築だけではなく、配賦を行える高度な管理会計システムを構築することができました。

従来は担当者が2日間つきっきりで収支集計、管理表を作成していたものが兼務している担当者が2時間程度で対応できるようになりました。今後は管理会計のみではなく、様々なデータを格納・分析するためのツールとして他の業務へも展開し活用したいと考えています。



イツツ・コミュニケーションズ株式会社

経営統括室 アシスタント・マネージャー 関水 純平 様

ケーブルテレビという事業の特性を踏まえて月次経営報告の充実を図る中で、FusionPlace(fusion_placeの旧ブランド名)の紹介を受け、採用しました。採用以前に経営報告資料のデザインは一通り行ったものの、損益情報に加え、多量の基礎データの加工を必要とする営業情報の加工・作表は困難を極め、継続的運用に不安がありました。fusion_placeの適用によって、設計した通りのExcelシートに簡単にデータを落とし込むことができる

ようになり、円滑に新報告制度を立ち上げることができました。加えて、その後の運用においては、経営陣からのフィードバックをもとに我々自身で報告資料を改善することができ、当社の経営管理のレベルアップに貢献できたと考えています。今後も、製品機能・サービス・コンサルティングを含め、当社の経営管理システムの高度化に貢献して頂けると期待しています。



EPSON KOREA CO., LTD.

General Manager Kim Jiyeon 様

弊社はセイコーエプソングループの韓国における販売会社です。これまでの予算編成は、エクセル作業によるデータ収集・加工及び複数資料への入力・転記といった作業が多く、非常に非効率な業務となっていました。これらの業務を徹底的に効率化し、予算編成プロセスのスピード化を実現し、経営意思決定の迅速化を図るため、経営管理システムの導入をすることになりました。数年にわたり、韓国内外の多くの経営管理システムの比較・検討をしましたが、fusion_placeを選定した最大の理由は、IT部門に頼らずに、実務者によって、設定、運用ができる点です。これまでは、業務ニーズ対応したシステム改善・拡張を行う場合、その都度IT部門にプログラミングをお願いしなければならず、業務

説明の時間とコストが発生していました。fusion_placeは、実務者による修正・拡張が可能であり、便利で効率的です。経営陣や営業部門に多様なレポートを迅速に提供できることはもちろん、本社で決められていた管理単位とは別の販社独自の単位で管理を行うことも可能になりました。また、毎年度、変更になる組織・製品体系に対応するために、売上・費用編集に多くの時間をかけていましたが、fusion_placeで年度別マスター管理を行うことにより、効率的に報告ができるようになりました。経営陣や営業部門も非常に満足しており、今後、社内ニーズを受けて2次開発を進める予定です。さらなる、経営基盤強化に貢献できると期待しております。



株式会社遠藤照明

経営企画室長 松澤 聡 様

LED需要の伸張に伴う急激な業績拡大を背景に、現行予算システムのレベルアップを検討していたところ、かねてより付き合いのあったタッチポイントコンサルティング社から fusion_place の紹介を受け、全面的にリプレースする方向に切り替えました。

第1ステップでは予算編成を対象とし、売上予算の組み立ての見直し、予算編成における各部署の責任の明確化などを図りました。続いて、月次での実績管理（差異分析コメント報告）、期末見通

しにも適用し、600名規模で運用しています。売上についてはさらに、現場での案件情報を踏まえた見通し管理システムを組み、精度向上を図りつつあります。

fusion_place は、柔軟性が高く、当社独自要件にフィットさせやすい点、又、稼働後もユーザ自身による改善／拡張が可能なのにメリットを感じています。今後とも、当社経営管理システムの基盤として活用していきたいと考えています。



株式会社ダイナム

情報システム部 システム開発担当 押井 圭介 様

弊社は全国に400店舗を超えるチェーンストア型のパチンコホールを経営する企業です。各地域を統括するゾーンマネージャーが担当地域の複数店舗を管理するのですが、各店舗の遊技台は人気や新製品の投入等、様々な理由で都度入替が発生します。ゾーンマネージャーは、その際の入替費用や販売促進費等を週次でシミュレーションして管理する必要があります。かつてはこの管理をすべてExcelで行っていましたので、最終的な費用を集計するのに相当時間がかかるだけではなく、前週とのシミュレーションとの差異がどこにあるのか把握するのは非常に困難でした。

fusion_placeはワークフロー機能があり、担当者がデータを提出し、上長が承認をするだけで、瞬時に集計が行われます。また提出タイミングごとの数値を保持していますので、前回提出分との差異をすぐに把握することが可能です。Excelとの親和性

が高いのも選定理由の大きな一つです。各店舗の担当者はこれまで使っていたExcelと見た目は同じフォームをfusion_placeからダウンロードしてデータ入力し、ボタンを押すだけでデータベースに数値が格納されます。

また設定が容易なことも魅力の一つです。上記のシミュレーション業務まではフュージョンズの担当の方と一緒に開発しましたが、その後拡張を行い、現在約4000人の従業員の目標や達成プロセス、上司・部下コメントなどを入力する進捗ふりかえりシートを収集、管理する業務にも使っています。

これはフュージョンズの担当の方の手を借りずに、社内の担当者のみで開発しました。fusion_placeは数値データだけではなく様々なデータを自由に設定して管理することができるので、今後も他の業務に拡張していきたいと思っています。

基幹システムの再構築を図る中で、管理会計部分に FusionPlace (fusion_place の旧ブランド名)を採用しました。

従来は管理会計用に巨大な Excelシートがあり、その管理が頭痛の種でしたが、FusionPlace の適用によりそのシートを廃止することができ、また、複雑だった配賦処理も簡素化することができました。

その後、予算編成や販売計画・在庫状況管理など他の業務分野に

も FusionPlace を適用し、支援を受けながら段階的にプロジェクトを推進しています。

一気に全てを構築するのではなく、ステップ・バイ・ステップで進められ、また、結果を見ながら軌道修正できるところにメリットを感じています。

今後も、当社として経営管理の制度・業務・システムを構築していく際のパートナーとして、貢献して頂けることを期待しています。

武田薬品工業株式会社

経営管理部 様

当社では従来、会計データをダウンロードし、Excel 上で組替・修正して単体業績資料を作成していましたが、シートが複雑化し、組織変更対応などに苦労していました。

開発元がベンチャー企業ということで不安もありましたが FusionPlace(fusion_place の旧ブランド名)を採用したところ、従来のシートのレイアウトはそのまま保ちながらデータを一元化

し、シートの計算式も著しく削減・簡素化することができました。短期間で業務の効率化を実現できたこともさることながら、その後2年間、社員自ら FusionPlace を活用して報告資料の変更、高度化などに対応して来ることができ、大変、満足しています。新たに体制を充実されたことにより、今後もさらに、製品・サービスを充実されることと期待しています。



日本デジタル配信株式会社

事業戦略企画推進本部 マネージャー 今井 弘文 様

弊社は、2000年の創立以来、全国のケーブルテレビ事業者様が抱える様々な課題を解決することを目的としたソリューションの提供に取り組んでいます。

この数年、ケーブルテレビ事業者様が提供するサービスが多様化・高度化し、弊社の事業範囲や規模は急激に拡大しました。しかし、従来からのExcelベースの管理方法では集計作業に非常に時間がかかるだけでなく、転記ミスによる間違いも発生する等、特に新サービスといったタイムリーな分析と判断を要する場面が多いプロジェクトの進捗管理において、肝心の定量的なレポートが不十分な状態でした。

そんな折、弊社のグループ企業で非常によく経営管理ツールを使っていると紹介を受けたのが、fusion_placeです。必要な

データを簡単な操作でExcelに出力することができる等、利便性あふれる機能面に魅力を感じました。

導入にあたって、コード体系の未整備等、弊側側の要因により時間がかかるのではないかと危惧しておりましたが、fusion_placeにはコード変換をユーザ側が簡単に行う仕組みを持っていたこともあり、結局、わずか2か月で導入が済み、月次報告書が瞬時に出力することができるようになったばかりか、これまで実現不可能だったプロジェクト別の損益管理もタイムリーに見ることができるようになり、従来より多くの時間を分析作業に費やすことができるようになりました。

今後は予実管理だけではなく、プロジェクト毎に異なる視点のKPIをタイムリーに管理し、より積極的に数値の分析、報告ができる環境をfusion_placeを使って構築していく予定です。

輸入車ディーラー B社

コントローリング部門 様

東京・大阪の輸入車ディーラーにおいて、予算・予測のとりまとめと予実分析に fusion_place standard を利用しています。

同業務では複数のソースのデータを統合する必要があり、従来まさに「Excelメタボ」となっていましたが、fusion_place によってそれが解消されました。データ集計の時間が短縮され、報告数値の分析と評価により多くの時間を割くことができるようになりました。

経営管理ツールに経験の深いメンバーが中心になって、製品の評価から実務への適用まで6か月程度をかけて導入しました。最低限のIT知識があればユーザー自身で導入できること、試行錯誤しながらツールに習熟できること、そして、「こういう機能があればいいのに」というユーザーのちょっとしたニーズが取り込まれていることが fusion_place の魅力だと感じています。

今後、ユーザー間で情報交換できる機会が増えてくることを期待しています。